

江戸川・坂川の位置図



もっと知りたくなったら
のぞいてみよう、きいてみよう！

●松戸市建設担当部河川清流課

TEL 047-366-1152

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/index.html>

●柏市土木部治水課

TEL 04-7167-1111

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/>

●流山市土木部河川課

TEL 04-7158-1111

<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/>

●千葉県県土整備部河川環境課

TEL 047-364-5143

http://www.pref.chiba.jp/syozoku/i_kakai/index.html

●東京都水道局金町浄水管理事務所

TEL 03-5660-1163

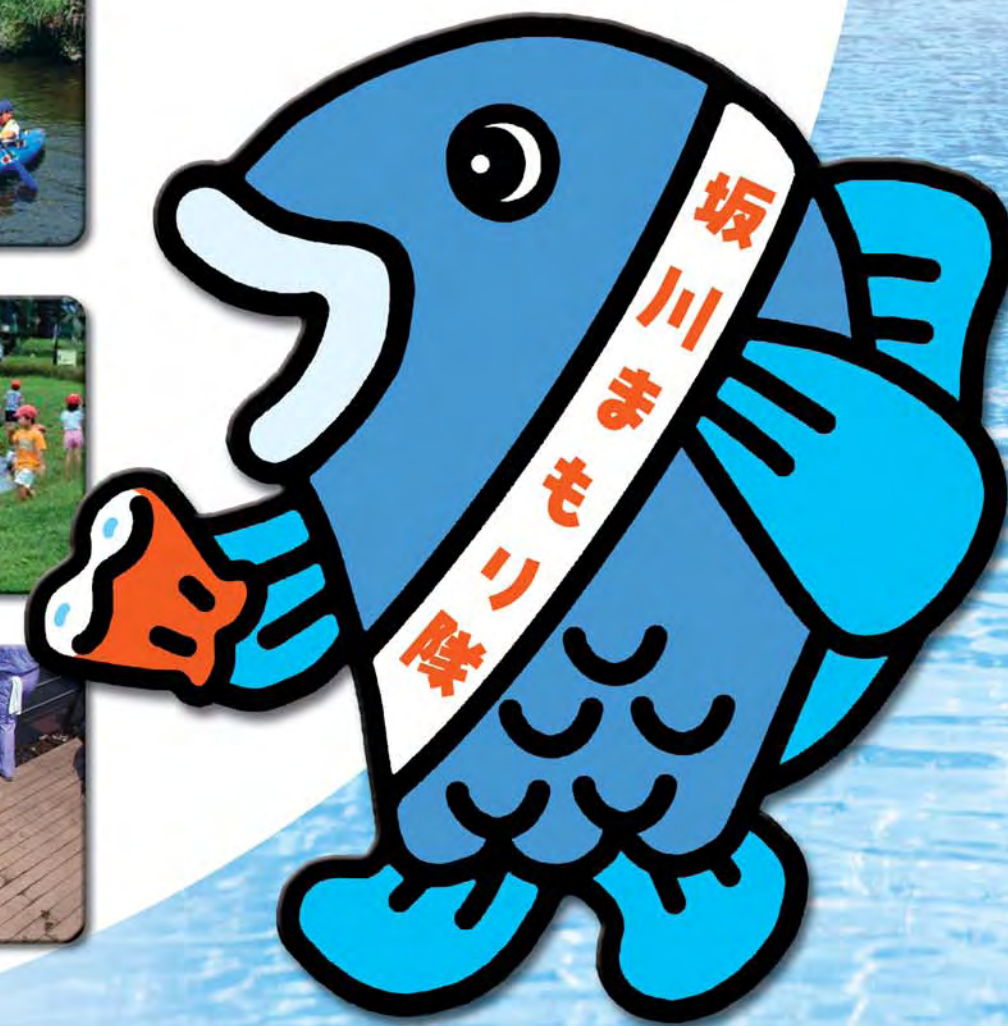
<http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/>

●国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所

TEL 04-7125-7317

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/>

江戸川・坂川 清流ルネッサンス



協議会キャラクター
坂川まもり隊の「まもる君」

「まもる君」は2006年に小学生
から募集したキャラクターの中か
ら最優秀賞に選ばれた作品です。

清流ルネッサンスⅡ 江戸川・坂川地域協議会



清流ルネッサンスとはなんだろう

みんなで川をきれいにするプロジェクト

川を管理する人、下水道を作る人、川を清掃する人、そして川の水を利用し排水を流す一人一人…たくさんの人々が協力しなければ川はきれいになりません。きれいな水を取り戻し、生きものがすみ、たくさんの人々が親しめる川になるように、地域の人々と市や県、国などが一緒になって努力し、改善しようとする取り組みを「清流ルネッサンス」と呼んでいます。

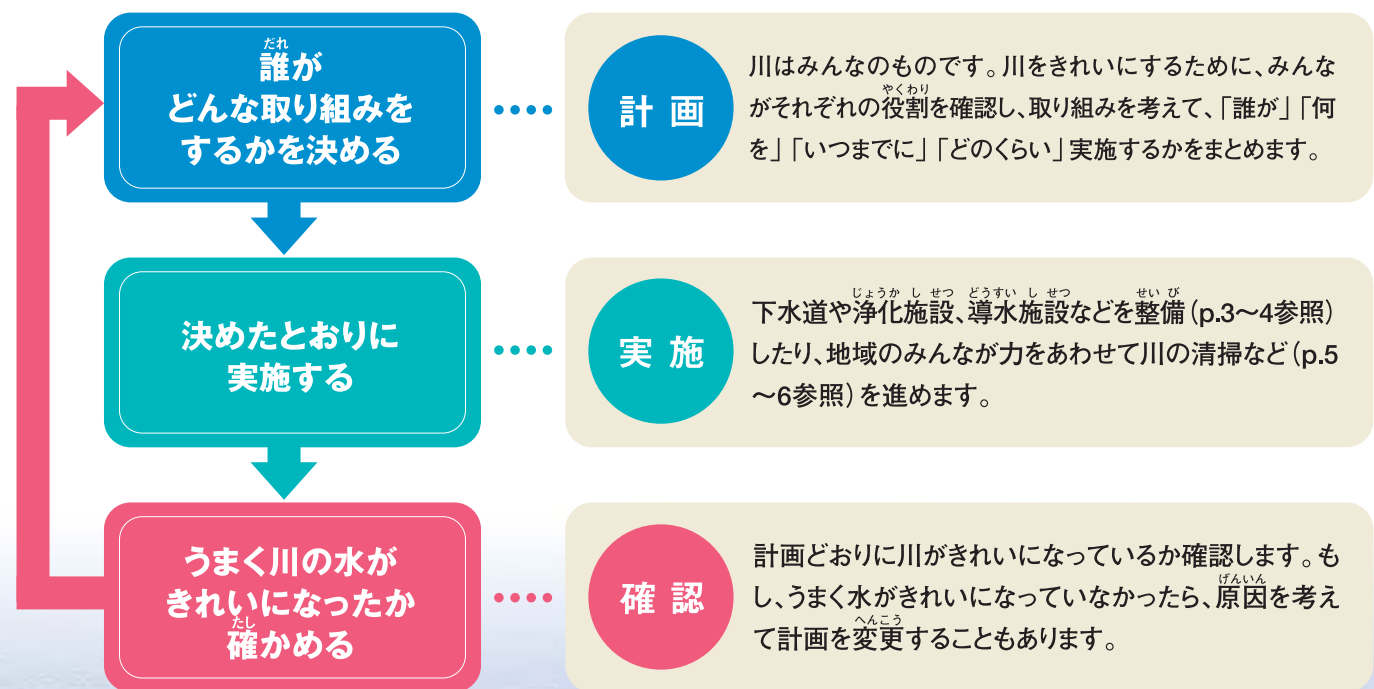


■清流ルネッサンスの意味

「ルネッサンス」とは、フランス語で「再生」「復興」を意味する言葉です。清流ルネッサンスには、「かつての清らかな流れを取り戻そう!」という意味が込められており、日本全国のよごれた川や湖で実施されています。

けいかく じっし かくにん 計画→実施→確認のくり返しが基本

●清流ルネッサンスの中身



■目標年度について

江戸川・坂川清流ルネッサンスでは、川の水量、水質レベルの目標を設定して2010年度までの達成を目指して取り組んでいます。

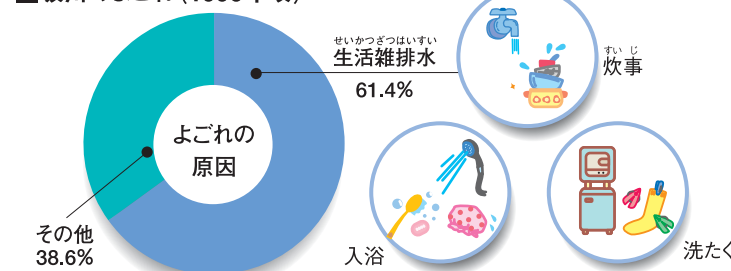


かつてはとてもよごれていた江戸川・坂川

●坂川はきたないことで有名でした

人々が生活する中でよごした水のほとんどを家の側溝から水路を通して坂川に流していたため、坂川はとてもよごれました。

■坂川のよごれ (1990年頃)

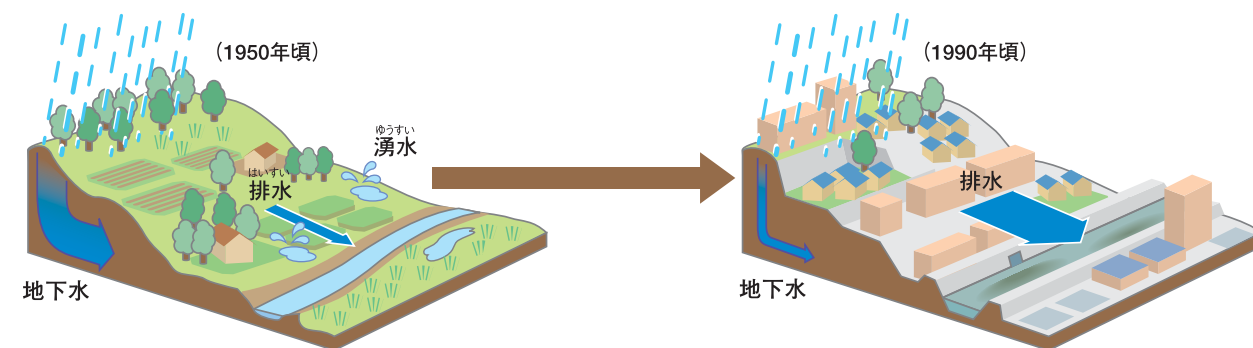


よごれていた坂川

■坂川をとりまく環境の変化

1950年頃、坂川の周辺には森や田畑がたくさんありました。森や地表に降った雨はいったん地中にしみこみ、長い時間をかけて再び地表に湧き出し、きれいな川の源となっていました。

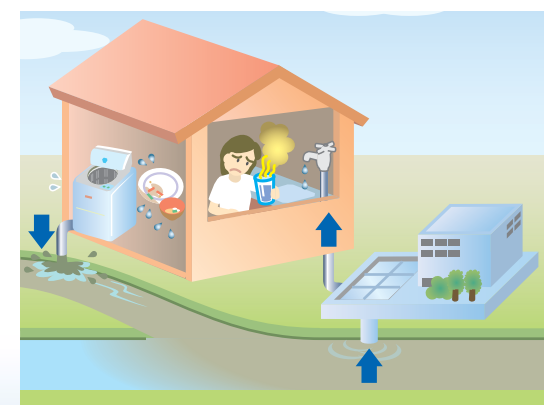
しかし、1990年頃になると、人々がたくさん住めるように開発が進み、森や田畑は少なくなりました。地中にしみこむ雨の量が減り湧水は少なくなる一方で、家庭や工場から流れてくる水が多くなったため、坂川はよごれていきました。



●江戸川の水から作った水道水はおいしくありませんでした

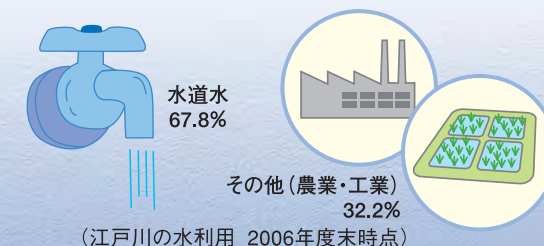
きたない坂川の水が江戸川に入るために、江戸川の水から作った水道水は、「かび臭い」、「おいしくない」と言われ、評判がよくありませんでした。

自分たちでよごした水が自分たちの飲む水にまで影響を与えていたのです。



■私たちの暮らしを支える江戸川

江戸川からとった水の約70%は私たちが使っている水道の水に利用されています。江戸川の水をつかう金町浄水場では東京都に住む約 250万人 (2004年度の配水量実績から推定) に水道水を供給しています。





川のごれをなくしたい

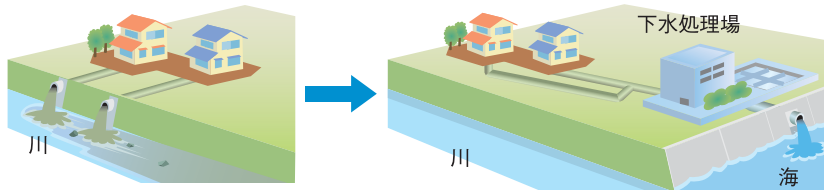
～江戸川・坂川清流ルネッサンスの取り組み(その1)～

江戸川・坂川清流ルネッサンスは、1994年から「清流ルネッサンス21」として始まり、2001年からは「清流ルネッサンスII」として引き継ぎ、様々な取り組みを実施しています。

下水道の整備

●よごれた排水を川に流さない

家庭や工場などからの排水をそのまま川へ流さず、下水処理場できれいにしてから川や海へ流します。

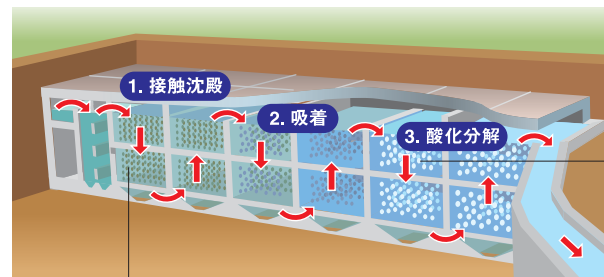


浄化施設

●よごれた川の水を微生物の力できれいにする

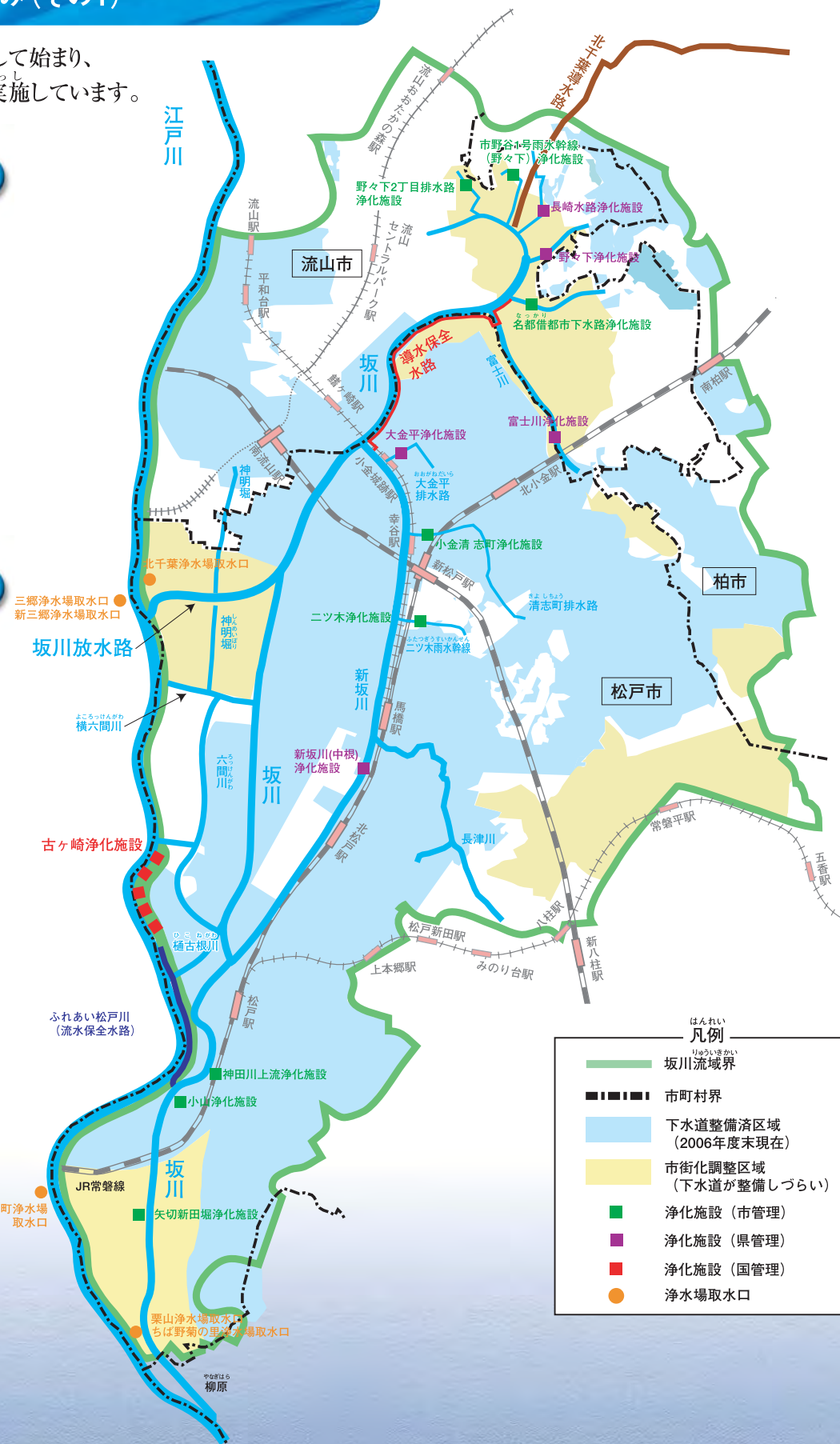
浄化施設の中には、接触材とよんでいる小石やプラスチックをたくさんしきつめています。その小石やプラスチックには微生物が付着していて、浄化施設を通るうちに微生物がよごれをえさとして食べ、水をきれいにします。これは、もともと川がもっている自然の浄化作用を応用したものです。

■浄化施設の全体図(名都借都市下水路浄化施設の例)



浄化のしくみ

- ①接触沈殿**
よごれた水が接触材の間を通ると、水中にういているよごれが接触材にふれて沈殿します。
- ②吸着**
水中のよごれは接触材に吸いよせられたり、接触材のねばりに吸いつけられたりします。
- ③酸化分解**
接触材の表面にいる微生物がよごれをえさとして食べ、最後には水と炭酸ガスに分解します。

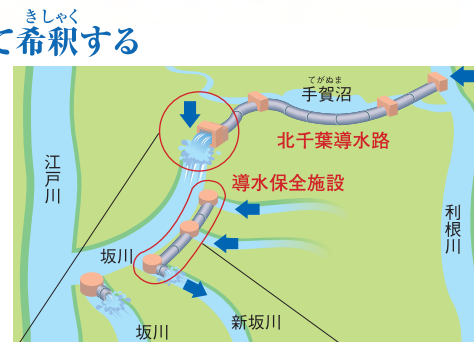


N
4

導水

●きれいな利根川の水を入れて希釈する

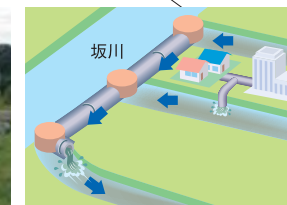
きれいな利根川の水を坂川に運ぶことで、よごれた川の水を希釈して(うすめて)きれいにします。導水は川の水質を改善させるだけでなく、それまで水量の少なかった坂川に豊かな流れをもたらしました。



利根川の水は、ここから坂川へ流れこみます



坂川放流口



導水保全施設

■北千葉導水事業

北千葉導水路は、①利根川から江戸川へのきれいな水の導入と川の水量を調整すること、②坂川(流山市野々下地先より下流)を導水路として利用し坂川の水質を改善すること、③都市用水(上水道や工場など都市生活に必要な水)を確保することを目的に作られ、2000年に完成しました。

■導水保全水路

利根川のきれいな水が、北千葉導水路を通して江戸川に運ばれる間に、よごれた坂川支川の水と混じらないようにするために作られた施設です。支川の水は、北千葉導水路(坂川)に合流する前に、導水保全施設に流れ込み、新坂川まで運ばれます。

流水保全水路をつくる

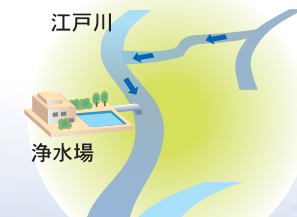
●水道にきれいな水を届けるためによごれた川を分離する

浄水場で水道水を作るときによごれた坂川の水を取水しないようにするため、浄水場の下流まで迂回する水路を作り、坂川の水を江戸川と分離しました。

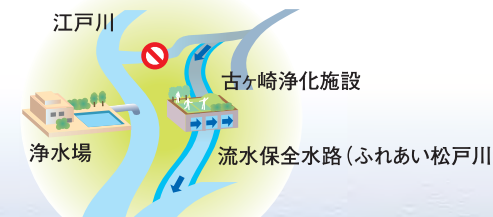
江戸川の河川敷にできた新しい川「ふれあい松戸川」は流水保全水路の一部です。



江戸川(左上)とふれあい松戸川



整備前



現在

■流水保全事業

流水保全水路と古ヶ崎浄化施設は、流水保全事業として 1998年に完成しました。都市用水を安全に取水できる目的のほか、有害な物質が坂川から江戸川に流れ出ないように未然に防ぐ役目も担っています。さらに、ふれあい松戸川は、動植物の豊かな生息空間を創出できるように整備されました。